

「清田の空に」

作詞 作曲：池田光

遥かに流れる雲と 風にまかせて
ただ自由になる あしりべつの あの水のように

いつかの思い出の日を ここに集めて
新たな時を 歩む日へと いま生まれ変わる

限りない いにしえと とこしえの光彩に
重なる時の流れはただ 僕らを運ぶ

清田の空は いつの日にも
いつもの笑顔があふれてる
変わらないさ 僕らの心には そうさ
ほら 確かに聞こえてる 愛の歌を歌おうよ

微かに薫る春の日 花びら集め
梅林の花 桜並木 ほら、あふれ落ちて

白旗山を上げば 我が街を想う
大輪の花 胸に抱く この若いいのち

風に舞う 木の葉さえ 静かに息をひそめ
暖かな春の木漏れ日に 明日を想う

清田の大地に いつの日も
いつもの笑顔があふれてる
忘れないさ 私の故郷は そうさ
ほら 確かに生まれてる 愛の歌を歌ってる

清田の空は いつの日にも
いつもの笑顔があふれてる
変わらないさ 僕らの心には そうさ
ほら 確かに聞こえてる 愛の歌を歌おうよ